



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 平野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	87,500	3.8	2,988	66.1	3,174	66.5	2,141	58.0
29年3月期第2四半期	84,267	11.0	1,799	19.2	1,906	16.3	1,355	11.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,426百万円 (59.4%) 29年3月期第2四半期 1,522百万円 (348.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.63	—
29年3月期第2四半期	44.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	78,323	62.5	49,617	62.5	48,992	62.5
29年3月期	74,218	63.2	47,524	63.2	46,895	63.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 48,982百万円 29年3月期 46,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	3.5	5,400	13.0	5,600	12.2	3,900	13.9	128.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	30,371,908株	29年3月期	30,371,908株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	54,634株	29年3月期	54,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	30,317,405株	29年3月期2Q	30,306,706株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調にありますが、各国の経済・通商政策の動向や新興国経済の減速懸念など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、当第2四半期連結累計期間は、前年同四半期と比べ原料ポジションが改善したため、事業環境の厳しさが幾分和らぎました。原料ポジション改善の主な理由は、前第2四半期に主原料のとうもろこし価格が値下がりして、以降は安定的に推移したことや為替相場を反映した価格改定を行ったためであります。しかしながら、販売面においてはメーカー間の競争はさらに激化しており、厳しい状況は続いております。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や日本ハムグループ、伊藤忠商事グループとの資本業務提携を活かして売上拡大を図りました。また、連結子会社のみらい飼料株式会社を活用し、全国10工場の全体最適化による生産性向上やスケールメリットによるコストダウンで原価を低減するなど利益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高875億円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益29億88百万円（前年同四半期比66.1%増）、経常利益31億74百万円（前年同四半期比66.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億41百万円（前年同四半期比58.0%増）となりました。

売上高は、畜産飼料や畜産用機器の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、3.8%の増収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益率の上昇などにより、66.1%の増益となりました。営業増益を受けて親会社株主に帰属する四半期純利益は、58.0%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、畜産飼料の販売量、平均販売価格ともに前年同四半期を上回ったことにより、前年同四半期比2.4%増の735億50百万円となりました。セグメント利益は、販売量の増加、原料ポジションの改善やコストダウンによる利益率の改善などにより、前年同四半期比64.1%増の25億28百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、食肉の販売量が減少したものの特殊卵の販売量が増加したため、前年同四半期比3.1%増の92億21百万円となりました。セグメント利益は、特殊卵の販売増がけん引し、前年同四半期比6.0%増の1億80百万円となりました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比35.8%増の47億28百万円、セグメント利益は、前年同四半期比187.1%増の5億28百万円となりました。増収増益となった主な要因は、畜産用機器の販売台数が増加したためであります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億5百万円増加の783億23百万円となりました。流動資産は497億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億5百万円増加しました。これは主に現金及び預金が10億9百万円、その他の流動資産が10億56百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が53億82百万円、原材料及び貯蔵品が8億27百万円増加したことによるものであります。固定資産は285億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億円減少しました。これは主に投資有価証券が1億92百万円増加したものの、有形固定資産が6億5百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ20億12百万円増加の287億6百万円となりました。流動負債は215億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億10百万円増加しました。これは主にその他の流動負債が5億26百万円減少したものの、買掛金が21億7百万円増加したことによるものであります。固定負債は71億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2百万円増加しました。これは主に長期借入金1億35百万円、その他の固定負債が1億58百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ20億92百万円増加の496億17百万円となりました。これは主に利益剰余金が18億7百万円増加したことによるものであります。総資産の増加が純資産の増加を上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント低下の62.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、55億11百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の減少は10億9百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は57百万円（前年同四半期比62億57百万円減少）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益31億63百万円、減価償却費10億66百万円及び仕入債務の増加34億63百万円であります。一方、主な資金使用の要因は売上債権の増加51億19百万円、たな卸資産の増加12億64百万円及び法人税等の支払額10億93百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7億19百万円（前年同四半期比55百万円増加）となりました。これは主に固定資産の取得による支出7億57百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億45百万円（前年同四半期比59億92百万円減少）となりました。これは主に配当金の支払額3億33百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月2日に公表いたしました平成30年3月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年11月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,531	5,521
受取手形及び売掛金	27,535	32,918
商品及び製品	2,195	2,629
仕掛品	679	682
原材料及び貯蔵品	5,438	6,265
その他	3,286	2,229
貸倒引当金	△446	△520
流動資産合計	45,220	49,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,481	6,355
機械装置及び運搬具(純額)	5,993	5,441
工具、器具及び備品(純額)	661	669
土地	8,529	8,520
リース資産(純額)	14	12
建設仮勘定	15	90
有形固定資産合計	21,695	21,089
無形固定資産	322	283
投資その他の資産		
投資有価証券	6,131	6,324
長期貸付金	38	1
退職給付に係る資産	4	4
その他	1,082	1,162
貸倒引当金	△277	△268
投資その他の資産合計	6,980	7,223
固定資産合計	28,998	28,597
資産合計	74,218	78,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,869	13,976
短期借入金	1,637	1,438
1年内返済予定の長期借入金	1,499	1,549
未払法人税等	1,177	1,193
賞与引当金	362	716
役員賞与引当金	91	—
その他	3,227	2,700
流動負債合計	19,863	21,573
固定負債		
長期借入金	3,911	4,046
債務保証損失引当金	19	21
退職給付に係る負債	612	619
資産除去債務	85	85
その他	2,201	2,359
固定負債合計	6,829	7,132
負債合計	26,693	28,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,358	4,358
利益剰余金	36,123	37,931
自己株式	△34	△34
株主資本合計	45,183	46,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,863	2,004
繰延ヘッジ損益	△29	93
為替換算調整勘定	△19	△23
退職給付に係る調整累計額	△102	△83
その他の包括利益累計額合計	1,712	1,991
非支配株主持分	629	634
純資産合計	47,524	49,617
負債純資産合計	74,218	78,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	84,267	87,500
売上原価	76,420	78,219
売上総利益	7,847	9,280
販売費及び一般管理費	6,047	6,292
営業利益	1,799	2,988
営業外収益		
受取利息	1	10
受取配当金	87	107
持分法による投資利益	2	15
貸倒引当金戻入額	2	1
債務保証損失引当金戻入額	23	—
その他	74	72
営業外収益合計	190	206
営業外費用		
支払利息	25	16
債務保証損失引当金繰入額	—	1
為替差損	41	—
その他	16	2
営業外費用合計	83	21
経常利益	1,906	3,174
特別利益		
固定資産売却益	1	2
ゴルフ会員権売却益	—	0
補助金収入	—	8
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産除売却損	14	10
投資有価証券評価損	—	10
ゴルフ会員権評価損	2	0
特別損失合計	16	21
税金等調整前四半期純利益	1,890	3,163
法人税、住民税及び事業税	550	1,136
法人税等調整額	△25	△119
法人税等合計	525	1,016
四半期純利益	1,365	2,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,355	2,141

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)
四半期純利益	1,365	2,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	141
繰延ヘッジ損益	276	123
為替換算調整勘定	△2	△7
退職給付に係る調整額	41	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	3
その他の包括利益合計	156	278
四半期包括利益	1,522	2,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,513	2,420
非支配株主に係る四半期包括利益	8	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,890	3,163
減価償却費	1,212	1,066
持分法による投資損益 (△は益)	△2	△15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	77	353
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	△91
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	51	20
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	13
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△23	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41	66
受取利息及び受取配当金	△88	△117
支払利息	25	16
為替差損益 (△は益)	8	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△0
ゴルフ会員権評価損	2	0
固定資産除売却損益 (△は益)	13	7
売上債権の増減額 (△は増加)	3,245	△5,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	38	△1,264
仕入債務の増減額 (△は減少)	△203	3,463
その他	456	△525
小計	6,723	1,050
利息及び配当金の受取額	88	117
利息の支払額	△23	△17
法人税等の支払額	△472	△1,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,314	57
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△4	—
貸付金の回収による収入	50	71
有価証券の取得による支出	△5	△0
固定資産の取得による支出	△742	△757
固定資産の売却による収入	16	7
その他の支出	△16	△52
その他の収入	37	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664	△719

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,493	△198
リース債務の返済による支出	△1	△1
長期借入れによる収入	1,800	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,405	△812
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	33	—
配当金の支払額	△272	△333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,338	△345
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△694	△1,009
現金及び現金同等物の期首残高	4,529	6,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,835	5,511

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,839	8,946	80,786	3,481	84,267	—	84,267
セグメント間の 内部売上高又は振替高	327	0	327	29	357	△357	—
計	72,167	8,946	81,113	3,510	84,624	△357	84,267
セグメント利益	1,540	170	1,711	184	1,895	△4	1,890

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△516百万円、金融収支533百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	73,550	9,221	82,772	4,728	87,500	—	87,500
セグメント間の 内部売上高又は振替高	304	0	304	27	332	△332	—
計	73,855	9,222	83,077	4,756	87,833	△332	87,500
セグメント利益	2,528	180	2,708	528	3,237	△73	3,163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△592百万円、金融収支560百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。